

筑波大学新聞

第314号

編集責任 筑波大学新聞
編集代表 福原直樹
TEL: 029(853)2040-6699
E-mail: shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

谷口陽子准教授 つくば芸術祭 柔道 ハンドボール春季リーグ 自転車 路上わいせつ	壁画や装飾品を調査・修復 中村佑介さんが講演 永瀬全日本選手権3位 好調の女子現在2位 駐輪マナーに市民から苦情 被害女性事件の状況語る	5 2 8 9 11
---	---	------------------------

3 6,7	地域と大学つなぐ 社会貢献プロジェクト 特集 つくばから発達 未来の乗り物
----------	---

LINE 社社長 森川亮氏 つくばをシリコンバレーに



森川亮氏

「筑波大発の起業家を」

スマホ向けアプリ「LINE」を提供するLINE社社長の森川亮氏(昭和63年度第三学群情報学類卒業)が本紙の単独取材に応じた。この中で森川氏はLINEの成功について「スマホに特化した、誰もが使えるシンプルな機能がヒットの理由」と発言。また、最近LINEをめぐりいじめが頻発した問題については「LINEやスマホの使い方」教育が必要だ」と語った。一方、森川氏は主に筑波大生を対象に7月「ビジネスコンテスト」を計画中だと明かし、これを機に「筑波大発の起業家を増やし、つくばをシリコンバレーにしたい」と語った。(平嶋健一/社会学類3年、2面に森川氏の経歴と関連記事)

7月中旬
ビジネス計画
LINE社は2000年創設。森川氏は07年に社長に就任したが、11年に提供を開始した「LINE」がヒットし、現在、4億人以上のユーザーがいる。

森川氏はLINEのヒットの理由について「日常的に(無料で)使えるサービスだから受け入れられた」と発言。LINEを「水」に例えた上で「皆が(本質的に)欲しいのは色が付いていたり、においがある水ではなく、安心安全で無料なもの。LINEも水と同じだと思う」と話した。

この一方で、LINE上でのいじめが多発している問題については「使い方に」ついて未成年への教育が必要」とした上で「LINEがなくても、いじめは根絶しない。どういじめが起きるのかを解明する方も大事だ」とも指摘した。

一方、森川社長は「筑波大発のベンチャー企業を増やしたい」と発言。今年7月18-20日に主に筑波大生を対象にしたビジネス「Tsukuba Creative Camp(TCC)」を開催する計画を明かした。将来的にはTCCを筑波大の授業科目として大学側に提案したい考えで「授業から学生がそのまま起業できるようにしたい」と話した。

TCC実行委員会によると、TCCは7月18-20日の予定で、ビジネスでは筑波大出身の経営者などを審査員に学生らが発表する。事前申し込みが必要。詳細は<http://tcccamp.net>

「伊豆をジオパークに」 登録に向け後押し



社会貢献プロジェクト

「こんな生き物見たことない!」子どもたちが磯を覗き込みながら、目を輝かせた。磯のどりのどりに生き物たちが暮らしているのか。その生息は……。子どもたちは筑波大学下田臨海実験センター(静岡県下田市)の担当者説明に熱心に聞き入っていた。

夏、「筑波大学社会貢献プロジェクト」の一環として企画した「伊豆海洋自然塾ジュニア養成講座」(小学3-6年生が対象)は、盛況だった。講座は金目鯛の解剖や南極越冬隊経験者の体験談など盛りだくさんで、子どもたちは興味津々の様子だった。そしてこのイベントの精神は今も引き継がれている。

同センターは昨年、地元住民を対象に「自然体験のイベントを実施。定番の磯の生物観察のほか、溶岩が吹き出して固まった場所など「ジオスポット」と呼ぶ必要がある。

同センターは在籍者約60人で、海洋生物の研究を行うが、研究成果を生かす活動を行う予定だ。

10周年を迎えた活動の成果を報告していく。

夏、「筑波大学社会貢献プロジェクト」の一環として企画した「伊豆海洋自然塾ジュニア養成講座」(小学3-6年生が対象)は、盛況だった。講座は金目鯛の解剖や南極越冬隊経験者の体験談など盛りだくさんで、子どもたちは興味津々の様子だった。そしてこのイベントの精神は今も引き継がれている。

同センターは昨年、地元住民を対象に「自然体験のイベントを実施。定番の磯の生物観察のほか、溶岩が吹き出して固まった場所など「ジオスポット」と呼ぶ必要がある。

同センターは在籍者約60人で、海洋生物の研究を行うが、研究成果を生かす活動を行う予定だ。

10周年を迎えた活動の成果を報告していく。

10周年を迎えた活動の成果を報告していく。

10周年を迎えた活動の成果を報告していく。

外科医の研修期間短縮へ 手術シミュレーション開発

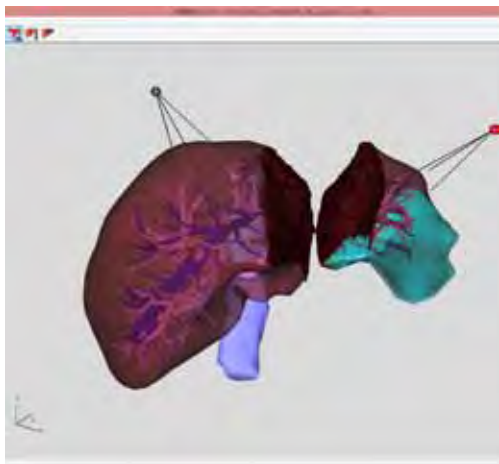
大河内教授ら

大河内信弘教授(医学医療系)らの研究グループによる手術シミュレーションシステム「Liversim」の開発が進んでいる。同システムの導入で、今まで約15年かかっていた外科医の研修期間が、5-8年短縮されるという画期的な成果が期待されている。

「Liversim」は、様子や、臓器に力を加えたさまざまな患者のデータを、実際の変形具合も再現可能で、現実に近い形で手術シミュレーションができる。画面上で自由に切除したり回転させることが可能だ。切り離した後の血管の

が再現できるが、29年度までの変形具合も再現可能で、現実に近い形で手術シミュレーションができる。現在は操作にコンピュータ用のマウスを用いる

今年2月からは筑波大の医学類4-5年生の病院実習教育に導入されている。導入後、手術解剖の成績の上昇が見られ、学生からも好評だといふ。また筑波大附属病院では手術を受ける患者への説明にも用いる予定で、医学知識がない人に、難手術を分かりやすく説明できるようにもなる。



肝臓切除の様子を再現する「Liversim」

日本の外科医の数は1988年と比べ半減。20年後には現在の3分の1に

なる予想されるが、その原因の一つに研修期間が長いことが指摘されていた。

大河内教授によると、技術は医学医療系のほか、システム情報系、図書館情報メディア系が共同して開発している。「各系のレベルが高い筑波だからこそできる研究。開発を進め、外科医不足を解消したい」と語った。



博士号「推進」へ活動続く

昨年10月、第一エリアの松美池に突如浮かんだボート「博士号」。その様子はツイッターで拡散され、話題になった。その後、学生が乗船できることを目指す大学公認の学生活動「つくばアクションプロジェクト」(T-ACT)が発足。博士号の「推進」に向け活動を続けており、4月23日には松美池で「安全検証実験」が行われた。(10面に関連記事)

「人間は日々自由になるにつれて自由でありつる」という著者の言葉の意味を一日中考え続けた。その時間は確かに充実していたと思う。「充実」も自由と同じで、自ら考え行動しなくては得られない。「充実」とは個人が決めていくものなのだろう。そのためには自分の心を満たす何かを探し出さなければならぬ。他人が決めた物差しで、充実の度合いを計ることができない。



シャレの中の海の生物を観察する子ども

筑波お話し

大学で学び1年がたった。親しい友人もでき、サークル活動では「中核」になったという自負も持てるようになった。だが、「今の自分は本当に充実しているのか」と考えることがある。▼そもそも「充実」とは何なのか。内閣府の調査によると、日本の18-24歳の若者の約75%が、充実感を感じるのは「友人や仲間」と答えた。若者の流行語「リア充」(リアルな生活の充実)もネットでは「交友関係が広い人」「恋人がいる人」と定義されている。だが友人を持つことだけが「リア充」につながるわけではない。広辞苑によると、「充実」とは「中身がいっぱい入っていること。内容が満ちて豊富なこと」だ。新しい知識を手に入れた時。美しい景色に出会った時。一人で充実感を得ることは可能だ。▼政治学者・丸山眞男の「日本の思想」(岩波新書)を読みふけたことがある。「人間は日々自由になるにつれて自由でありつる」という著者の言葉の意味を一日中考え続けた。その時間は確かに充実していたと思う。「充実」も自由と同じで、自ら考え行動しなくては得られない。「充実」とは個人が決めていくものなのだろう。そのためには自分の心を満たす何かを探し出さなければならぬ。他人が決めた物差しで、充実の度合いを計ることができない。



インタビューに答える森川氏

森川 LINE 社社長

まずはアクションを

「考える前に行動する」に集中する……。LINE社社長の森川亮氏(昭和63年度第三学群情報学類卒業)は、経営など自らの理念を聞かれ、そう繰り返した。また若い世代には、安定期に向走らず「今やりたいことをやってみよう」とも。森川氏とのインタビュー内容は以下の通り。

(平嶋健人II社会学類3年、林健太郎II同2年)

「今やりたいこと考えて」

■経営理念について聞かされたとき。時代の変化に対応することが一番重要だと考えています。10年後がどうなっているか誰も読めない世の中で、10年後の計画を作っても意味がない。今に集中する、もしくは予測できる範囲で高いものを目指すようにしています。

日本人は計画立案に時間を使って、実際の行動に結びつかない人が多い。大事なことは計画ではなく、まず何かアクションを起こすこと。社員には考える前に行動するスピード感を求めています。計画にこだわると本質を見失います。

■「起業」とは何なのですか。起業は結果的にはお金を儲けつつありますが、自分の技術や知識で社会に貢献することがゴールだと思っています。

■「今やりたいこと考えて」を聞いています。シリコンバレーも、あるベンチャー企業が生まれたのをきっかけに発展した。つくばでは最近、徐々にベンチャー企業が生まれつつあるので、それを機に大きく変わることを期待しています。

■「シリコンで学生に求めることは」。とにかく多くの学生に参加してほしい。僕が大学生のころは、「大学がつまらない」という学生が大勢でした。「どうしても受けない」という授業が特になかった。だから、多くの学生がわくわくするような授業を勉強できる大学にしたい。そのためには、学生と一緒に成功事例を作る

■「当時のつくばの印象は?」。夜道は暗く、とにかく歩いている人がいない、というのが当時の印象です。いろいろなアルバイトをして、大企業ではできない経験ができたことも思い出です。東京だと家庭教師など知的なアルバイトも多いですが、当時つくばにはそんな仕事もなくて、ラーメン屋の皿洗いや、駐車場の交通整理員まで何でもやっていた。

■「若い世代へのメッセージをお願いします」。昔は起業するのに、お金を貯めておく必要がありました。今は、やりたいことをやってみよう、という考えが広がっています。お金を貯めておく必要がなくなりました。でも今は

■「若い世代へのメッセージをお願いします」。昔は起業するのに、お金を貯めておく必要がありました。今は、やりたいことをやってみよう、という考えが広がっています。お金を貯めておく必要がなくなりました。でも今は

アフガニスタン パーミヤン遺跡 壁画や装飾品を調査・修復



調査を行う谷口准教授

谷口陽子准教授

文化財の保存科学を専門とする谷口陽子准教授(人文学部)が、中央アジアを中心に世界各地で古代壁画や装飾品などの貴重な文化遺産の保存・修復活動を行っている。時間とともに劣化する重要な文化遺産を長持ちさせるため、壁画に使われている彩色材料から新たな地域交流の歴史や世界最古の油絵の発見に関わるなど、大きな成果も上げている。(林健太郎II社会学類2年)

谷口准教授は2005年に行われているアフガニスタン、バンのテロ活動によって破壊されたため、03年から修復活動を行ってきた。遺跡はイスラーム主義勢力から、東京文化財研究所の遺跡(アフガニスタン)のバンのテロ活動によって破壊されたため、03年から修復活動を行ってきた。遺跡はイスラーム主義勢力から、東京文化財研究所の遺跡(アフガニスタン)のバンのテロ活動によって破壊されたため、03年から修復活動を行ってきた。

放射線物質を高度に吸収 白岩教授らが発見



「nak9」の培養風景

微細藻類「nak9」

福島第一原発事故でも飛散した放射性物質、セシウムを高度に吸収する能力を持つ微細藻類「nak9」を白岩善博教授(生環系)と井上敷教授(同)らの研究グループが発見した。福島第一原発での実証研究の許可が下りず実用化のめどは立っていないが、培養しやすい微細藻類を除染に用いることで、コスト削減が見込めるとい

同研究グループは、原発事故で飛散した放射性物質の中でも特に人体に取り込まれやすいセシウム、ストロンチウム、ヨウ素を除去する能力について、微細藻類や水生植物188株を調査。研究の結果、セシウム、ストロンチウム、ヨウ素を高度に吸収する株がそれぞれ5株、3株、8株発見された。中でもnak9と呼ばれる藻類は2日以内で培

養液中のセシウムを90%以上除去・吸収する能力があることが分かった。nak9は約10年前、井上敷教授が培養し続けていたもので「セシウム等を吸収する能力がある」とは全く予測していなかった(白岩教授)という。

海外拠点の新設

マレーシアとカザフに 筑波大学は4月24日、マレーシアとカザフスタンに海外拠点を設置したと発表した。各拠点は、大学のPR活動を行い、国際連携を推進していく。これにより、現地に派遣した留学生の確保も期待される。筑波大は、国際的に活躍できる「グローバル人材」の育成を強化するため、2006年から世界の主要都市に専用オフィス(海外拠点)を設けている。チュニスコ(チュニジア)の設置を皮切りに、タシケ

ント(ウズベキスタン)やホーチミン(ベトナム)にオフィスを展開してきた。今回の新設により、海外拠点は9カ国計10カ所となった。マレーシアの「クアラルンプールオフィス」はマレーシア工科大学内に開設。筑波大から派遣された教員1人と、現地で採用した職員が在任しているが、9月にはもう1人、職員を追加で派遣する。筑波大は12年10月から、マレーシアで日本型の工学系教育を普及させるプロジェクトに参

加。この本部もマレーシア工科大学内に設置された「アルマトイオフィス」は、同大に採用された元筑波大の教員が勤務する。筑波大は現地の4大学と学術協定を結び、過去7年間で96人の留学生を受け入れてきた実績を持つ。現在の学術交流は人文社会系が中心のため、今回の海外拠点設置をきっかけに、数理工学系や生命環境系の学術交流の促進を図る。

■「情報学類の思い出はありますか?」。実は大学に入るまでコンピュータに触ったことがなかったんです。教室に入ると、今でいうオタクみたいな人がばかりで、すっかり浮いてしまっていました。特にOとIでプログラムを組む作業が楽しかったです。勉強に関してはつらい思い出ばかりでした。

■「若い世代へのメッセージをお願いします」。昔は起業するのに、お金を貯めておく必要がありました。今は、やりたいことをやってみよう、という考えが広がっています。お金を貯めておく必要がなくなりました。でも今は

反射鏡

「ひと」のため 尽くす休日

荒川智弘(シス情2年)

私は、休日の大半をレーシングサーキットで過ごしています。生来クルマ好きであった私は、大学入学と同時にモータースポーツの世界へと飛び込んだ。

一般には、モータースポーツサーキットと考えると、安全な運営を現すためには、国際レースで数百名、入門レースでも百名程度のスタッフが必用となる。学生、会社員、主婦。さまざまな人々が、週末はサーキットに集う。その一人ひとりが、公平、安全なレース運営のために尽力する。

皆に共通するものは、「レースが好き」という想いだけ。その組織に加わり、共に仕事をすることで、これまで多くの「ひと」と出会い、多くの「ひと」に人生の哲学を教わって頂いた。モータースポーツは危険と隣り合わせの世界。だからこそ、先人から学ぶことが多く、このような環境に身を置くこと、早6年。小さいころから日曜日の午前中という時間帯が苦手だった。よく晴れた日に、ビンクの窓から差し込む無表情な暖かい日差しを見るのが重くなった。

ところで、私はせっかくなので、休日を寝て過ごすのはやめてしまった。そして、そんな憂うつな(自分の感覚の中の)朝を挽回し、充実した休日を通す方法が一つある。それは「誰か人と会って話をすることだ。友達でも先生でも、カフェの店員さんでもいい。朝早く起きられなくて沈みがちな日も、誰か一言でも会話を交わすだけで、心がぱっと晴れやかになるものだ。

人との対話 刺激を受ける

岩根美樹(芸専1年)

私は朝起きるのが苦手だ。特に休日は平気で昼まで寝てしまう。そういえば小さいころから日曜日の午前中という時間帯が苦手だった。よく晴れた日に、ビンクの窓から差し込む無表情な暖かい日差しを見るのが重くなった。

ところで、私はせっかくなので、休日を寝て過ごすのはやめてしまった。そして、そんな憂うつな(自分の感覚の中の)朝を挽回し、充実した休日を通す方法が一つある。それは「誰か人と会って話をすることだ。友達でも先生でも、カフェの店員さんでもいい。朝早く起きられなくて沈みがちな日も、誰か一言でも会話を交わすだけで、心がぱっと晴れやかになるものだ。



今月のテーマ
休日の過ごし方

記者の 声



中島佳奈

安倍政権の成長戦略の一つに、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

子育て支援策の充実を 女性の社会進出の一助に

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

「子育て支援策の充実」は、女性労働者の積極的活用があげられている。だが私が就職活動を通じて強く思ったのは、社会に今、この戦略を受け入れる土壌があるのだろうかということだった。

「女性はいったい何の仕事か出産か選ばなければならぬ」。会社訪問の中で、こんな本音を働いた女性から何度も聞いた。私は将来、仕事も家庭も両立させたいと願っているが、そのためには、

難病の「いま」伝えたい



毎日新聞記者 蒔田備憲さん

2005年に卒業後、滋賀、富山、佐賀と地方を転々とし、今年4月から水戸支局で働いています。事件や行政、選挙などを担当する傍ら、ライフワークとして取り組んできたのが「福祉」についての取材です。

前任地の佐賀県では、治らない病気を抱える「難病」の患者に話を聞くうちに「自分は難病のこと



蒔田さんの著書「難病カルテ 患者たちのいま」

「いま」が、ここに。すべての難病当事者、支援者のための画期的「使える」ツール誕生!!

「難病」は人ごとではない。ありのままの姿を通して、そのことを伝えたいと考えていました。

これまで難病や福祉と

「難病」は人ごとではない。ありのままの姿を通して、そのことを伝えたいと考えていました。

これまで難病や福祉と

「難病」は人ごとではない。ありのままの姿を通して、そのことを伝えたいと考えていました。

これまで難病や福祉と

手紙

「難病」は人ごとではない。ありのままの姿を通して、そのことを伝えたいと考えていました。

これまで難病や福祉と

時間を使い方 精進したい

伊坂庄多(PN)

僕の休日は金曜日から始まる。いや、始める。金曜日は、週で一番浮ついた気があって、その通りだと思っていた。だが、やはり実際に必要になる場面を体験するその大切さが身に染みる。それ以来、自分の研究したいことについてよく考えるようになった。人との対話の中で受けた刺激は、本などとは比べ物にならないほど鮮烈だ。その

「難病」は人ごとではない。ありのままの姿を通して、そのことを伝えたいと考えていました。

これまで難病や福祉と

投稿募集

皆様からのご意見を
お待ちしております

第30回つくば芸術祭 春のつくばを彩る2日間

筑波大学の芸術系サークル連合会が主催する「第30回つくば芸術祭」が5月3-4日につくば駅周辺で行われた。3日には人気イラストレーターの講演会が行われ、県外からも多くの人が訪れた。

つくば芸術祭は芸術系サークル連合会の有志が運営し、芸術を通して地域との交流を図る。「ファンクラブ」「アカペラサークルDoo・World」など音楽サークルによる発表や、写真部・及び書道部などの作品展示が行われ、春のつくばを彩る一大イベントとなった。

中村佑介さんが講演

講演会
今年の目玉企画は、イラストレーター中村佑介さんの講演会。中村さんは人気ミステリー小説「謎解きはディナーのあとで」(東川篤哉・著)の書籍カバーから、ロックアーティスト「アジアン・カンフー・ジュネレーション」のCDジャケット、教科



上=会場で披露された中村さんのイラスト
下=自身のイラストについて語る中村さん(右)

中村さんは、自身の経歴やイラストレーターとしての意識の持ち方など、ユーモアを交えて講演した。消費者はイラストを、作品の構成や技術より、どれだけ手間と時間をかけているのかで評価する。だから自分が寧ろ仕事を速く終わらせるように心がけた。

講演後、中村さんは「講演会には普段芸術に関わらない人も多く参加していたので、専門にとらわれない自由な質問が出て面白かった。講演を聞いた人が楽しかったと思うと嬉しかった。話し方、イラストに対する考え方を直接聞くことができ、ために「君が思い出せる前になんかが披露され、アコースティックギターを演奏する部員」



アコースティックギターを演奏する部員

ギターと歌声で魅了
弾き語り
4日にはアイアイモール前広場(つくば市吾妻)で弾き語りクラブ「アンプラグッド」の部員によるコンサートが行われた。スピ



学生たちがモデルとなったリコシェのショー

学生製作の衣装披露 デザイナー・モデルとの交流も

ファッションサークル「RICOCHET」(リコシェ)によるファッションショー「RICOCHET」は「水切り遊び」などの意味を持つフランス語。水切り

遊びのような弾む気持ちで「RICOCHET」が行われた。イメージし、子ども心を忘れるようにファッションを楽しむ「水切り遊び」などの意味を持つフランス語。水切り装のデザイン、製作、コーディネートなどで活動している。同ショーは「銀河ステーション」「Rose」などの4シーンで構成され、部員はそれぞれのシーンをイメージした衣装を製作した。当日は学生が、モデルとして衣装を華麗に披露。蛍光塗料を用いた衣装を暗闇の中で浮かび上がらせる演出や、ショー直前の舞台裏を映した映像の紹介など、工夫に富んだ内容で観客を魅了した。ショーの終了後は、観客が部員やモデルと交流する時間も設けられた。

「Rose」の衣装を製作した椎名美季さん(社会学類2年)は「1月から2月の準備を続けてきた。自分の作った服をモデルに着てもらって感動した」と話した。(新田明夏、12面に関連写真)

屋内外で作品展示 「筑波嶺の竜神」注目集める

芸術系教員らの作品展「交差する表現-構成専攻の現在」が、4月1日から6月1日まで大学会館アトリウム及び芸術系ギャラリーで開かれている。筑波大学芸術系の構成専攻は総合造形、クラフト、構成、ビジュアルデザイン、4領域に分かれている。回展はこれらの領域の紹介や、研究成果を発表す



国安教授の作品「筑波嶺の竜神」

を積み重ねた全長10メートルの作品で、屋外に展示すること、空間展示の可能性を模索している。会場を訪れた女子学生は「これも個性的な作品だが、専攻の教員11人が作品を出展した。特に来場者の注目を集めたのは、国安孝昌教授(芸術系)の「筑波嶺の竜神」。丸太と陶ブロック

社会には、多様な価値観をもった個人が共生しています。大学で学ぶ「自由」には二つの意味があります。一つは、自分の受け入れられない他者の生き方を尊重する、違いを認めるという意味です。もう一つは、多数者の常識に押しつぶされ、たった一人の、かけがえのない生き方を守ることです。会場を訪れた女子学生は「これも個性的な作品だが、専攻の教員11人が作品を出展した。特に来場者の注目を集めたのは、国安孝昌教授(芸術系)の「筑波嶺の竜神」。丸太と陶ブロックを使った方法がある分かって面白かった」と話した。(望月麗)



辻雄一郎

自分の思い込みに気付く 20歳のときに知っておきたかったこと スタンフォード大学 集中講義

ティナ・シーリグ 著 高遠裕子 訳
大学は、そのおびえを勇気に変換する余裕を養う場所です。常識を疑い、決まってきたステップを踏み出し、自分の限界に挑戦するとき、新しい「何か」が起こります。大学で学んだことが社会に活かされたら素晴らしいでしょうが、大学に在学している間、「学生」個人のできることは限りなく小さいでしょう。しかし、無力感を感じ、小さな一歩を私たちが踏み出したとき、社会の大きな流れの一つを形成しているのかもしれない。この本は、スタンフォード大学のティナ・シーリグさんが執筆したものです。私自身が20代のときに読んで、いかに、何かしら生き方が変わったかもしれないと思っただけです。「いま、手元に5ドルあります。2時間だけで増やせと言われたら、みなさんはどうしますか?」筑波大生は、この設問をどのように解くのでしょうか。私たちの目の前の考え方が思い込みや既成の価値観にとらわれていることに、ハッと気付かされる本です。私が18歳のとき、筑波大学で憲法や行政法を研究している今の自分を想像するからいませんでした。(阪急「ミニニケーション」(人社系・准教授))

催事

吹奏楽団第71回定期演奏会

筑波大学吹奏楽団第71回定期演奏会が6月14日(土)にバホール(つくば市吾妻)で行われる。曲目は1部「トリトン」他、2部「ミュージカル」レ・ミゼラブルより、他、3部「ミュージカル」レ・ミゼラブルより、他、の2部構成。15時開場、15時30分開演。チケットは一般1100円、当日券600円。高校生以下は無料。チケット予約・問い合わせ0800-930303-3675(担当:河田) / usb_inquiry@hotmail.com 詳細 http://sound.jp/usb (筑波大学吹奏楽団公式ホームページ)



全日本柔道選手権大会

永瀬が3位入賞の快進撃

デザイン=姉崎信(心理学類2年)



3年前の王者高橋に果敢に挑む永瀬(右)

【日本武道館(東京都千代田区)で井口彩II社会学類2年、森脇慎II同2年、体重無差別で柔道男子の日本一を決める全日本柔道選手権大会が4月29日に行われ、永瀬貴規(体専3年)が3位に入賞した。また黒岩貴信(同3年)は1回戦敗退に終わった。

4月の体重別選手権で優勝し、8月の世界選手権(ロシア・チェレピンスク)81kg級代表に内定している永瀬は初戦となった2回戦で100kg級、3回戦で90kg級、準々決勝では100kg級の超級の選手に勝利。準決勝で優勝した王子谷剛志(東海大)に敗れたものの、重量級の選手を次々に破る快進撃を見せた。

重量級の選手に3連勝

「初戦の相手のことしか考えていなかった。」そんな言葉は裏腹に永瀬は自身より大柄な選手に3連勝。準決勝まで駆け上がり、武道館に詰めかけた観客をわかせた。

2回戦の相手は熊代佑輔(ALSOK)。4月の体重別選手権の100kg級で優勝している階級上の実力者だが、「自分の間合いで足技を使って攻める」ことを考えて試合に臨んだ。

考え通りに、序盤から間合いを詰めてくる相手の攻撃をかわし、不利に見える体勢から「気がついていたら出ていた」という足で小外刈り。一本勝ちを収めた。

3回戦を指導2つによる優勢勝ちで突破し、迎えた準々決勝は3年前の全日本選手権王者、高橋和彦(新日鐵住金)。40kg以上の体重差がある相手

記者の目

「体が思うように動かなかった。何がいつもとは違った。初戦敗退した黒岩貴信(体専3年)に話を聞くと、そう答えた。毎年4月29日に開催され、体重無差別の全日本選手権は「出場することも難しい」といわれる、柔道日本一を決める大会だ。多くの選手は優勝どころか、出場が目標になってしまふ。そして体重無差別のため、パワーで勝る重量選手が優位に立つことが多い。

しかしそんな厳しい舞台でも永瀬貴規(同3年)は躍動した。出場選手の中で181cm、81kgの永瀬よりも軽い選手はわずかに3人。その3人と対戦することもなく、自分が一瞬で勝負をつける速さを表現する。

堅い守りの一方で、永瀬の攻撃面の最大の武器が「瞬で勝負をつける速さ」。

試合運びの巧さ際立つ

はしたが、8月の世界選手権(ロシア・チェレピンスク)に向けての弾みのつく結果だ。今大会でも見せた得意な足技でチェレピンスクに日の丸を掲げることができた。筑波大学、そして日本柔道の代表として永瀬の世界一に向けての挑戦は続く。(森脇慎)

世界選手権へ弾み

永瀬の持ち味は自分の間合いをしっかり保ち、簡単には相手の得意な形にさせない強固な守り。

永瀬の相手は熊代佑輔(ALSOK)。4月の体重別選手権の100kg級で優勝している階級上の実力者だが、「自分の間合いで足技を使って攻める」ことを考えて試合に臨んだ。

考え通りに、序盤から間合いを詰めてくる相手の攻撃をかわし、不利に見える体勢から「気がついていたら出ていた」という足で小外刈り。一本勝ちを収めた。

3回戦を指導2つによる優勢勝ちで突破し、迎えた準々決勝は3年前の全日本選手権王者、高橋和彦(新日鐵住金)。40kg以上の体重差がある相手

秋本・小野は3位入賞

全日本選抜柔道体重別選手権大会が4月5-6日に福岡国際センター(福岡市博多区)で行われ、男子81kg級で永瀬貴規(体専3年)が初優勝し、8月の世界選手権(ロシア・チェレピンスク)の代表に選ばれた。

また、73kg級で秋本啓之(了徳寺学園)・平成23年度体大育修了、100kg級で小野卓志(同・平成23年度同)が3位に入賞した。

永瀬は初戦、海老泰博(旭化成)に逆転勝ちし、準決勝で丸山剛毅(天理大)に勝利。決勝では、長島啓

「初戦の相手のことしか考えていなかった。」そんな言葉は裏腹に永瀬は自身より大柄な選手に3連勝。準決勝まで駆け上がり、武道館に詰めかけた観客をわかせた。

2回戦の相手は熊代佑輔(ALSOK)。4月の体重別選手権の100kg級で優勝している階級上の実力者だが、「自分の間合いで足技を使って攻める」ことを考えて試合に臨んだ。

考え通りに、序盤から間合いを詰めてくる相手の攻撃をかわし、不利に見える体勢から「気がついていたら出ていた」という足で小外刈り。一本勝ちを収めた。

3回戦を指導2つによる優勢勝ちで突破し、迎えた準々決勝は3年前の全日本選手権王者、高橋和彦(新日鐵住金)。40kg以上の体重差がある相手

野球

首都大学野球春季リーグ戦

最下位と低迷 打撃陣の調子上がらず

首都大学野球春季リーグ戦が4月12日から大田スタジアム(東京都大田区)まで行われ、筑波大学は打撃陣の調子が上がらず、5月15日現在、2勝8敗で8チーム中最下位と低迷している。

打撃陣が不振にあえぐな



先制の左中間三塁打を放つ水野

「打線を組み替えながら得点を奪いたい」(川村卓監督)と、監督は、最速139km/hの速球にバラン

は2回に2つの四球と犠飛などで1点を失うが、最速139km/hの速球にバラン

は2回に2つの四球と犠飛などで1点を失うが、最速139km/hの速球にバラン

は2回に2つの四球と犠飛などで1点を失うが、最速139km/hの速球にバラン

「状態が上がってきている」(川村監督)という投手陣は、左腕の西島隆成(体専3年)が先発。西島

は2回に2つの四球と犠飛などで1点を失うが、最速139km/hの速球にバラン

は2回に2つの四球と犠飛などで1点を失うが、最速139km/hの速球にバラン

は2回に2つの四球と犠飛などで1点を失うが、最速139km/hの速球にバラン



初戦での熊代と永瀬(右)の対戦

手「前半持ちこたえられ、後半は勝負に出られる。自分の方が若く、体力がある」と落ちて着いてきた。力押ししてくる高橋に自分の間合いを保ち、試合開始からおよそ3分。疲れが見え始めた高橋が強引に技をかけようとしたところを浮き落として返し、優勢勝ち。「返しは得意。そう言いきる永瀬だからこそできる」(12面に関連写真)

流通経済大を破り3連覇

第15回東日本大学セvens選手権大会

ラクビー

第15回東日本大学セvens選手権大会が4月13日、秩父宮ラグビー場(東京都港区)で行われ、筑波大学が3連覇を果たした。同日、4月6日に行われた、本大会が参加する7人制ラグビー大会「YC&AC JAP AN SEVENS」の準決勝で同大に負けた雪辱を晴らした。

決勝では、前半3分に山本浩輝(体専4年)がトライし先制する。だが、6分と前半終了間際のハーフタイムにトライを許し、7-12で前半を折り返した。

後半開始早々の1分、水上彰太(同4年)がトライを決めて逆転。しかし、流通経済大の猛攻を受け、再度逆転のトライを決められる。それでも筑波大は試合終了間際の9分、相手のキックしたボールを竹中祥(同4年)が奪い、主将の山下一(同4年)、亀山宏大(同3年)にボールをつなぐ。最後は裨田優志(同3年)がトライを決め、21-17で接戦を制した。

試合後、山下は「1年生の時から出場してきたこの大会で3連覇できてうれし」と語った。(富田慎二)

ディフェンスを振り切る筑波大選手

「状態が上がってきている」(川村監督)という投手陣は、左腕の西島隆成(体専3年)が先発。西島

は2回に2つの四球と犠飛などで1点を失うが、最速139km/hの速球にバラン

は2回に2つの四球と犠飛などで1点を失うが、最速139km/hの速球にバラン

は2回に2つの四球と犠飛などで1点を失うが、最速139km/hの速球にバラン

関東学生ハンドボール連盟春季リーグ戦 女子が好調、現在第2位



提供= TSA

中盤で東海大から巻き返し 「相手を見極め」好プレー連発

ハント
関東学生ハンドボール連盟春季リーグ戦が4月12日(土)から5月25日にかけて、国立士館大学多摩キャンパス体育館(東京都多摩市)などで行われている。筑波大学は2勝2敗で10チーム中3位に

安定したプレーを見せる田村

なっている。女子は5月3日に日本女子体育大学体育館(東京都世田谷区)で東海大学と対戦。試合中盤以降に流れをつかみ24-18で勝利した。序盤は東海大のペースで試合が進む。だが、試合中盤にセンターの岩崎成美(体専2年)が体を張ったカットインプレーで得点を決め、筑波大に流れを引き寄せた。その後は「相手の動きを見極め、焦らず冷静にプレーできた」(加納明帆主将 同4年)と好プレーを連発。左サイドの田村美沙紀(同2年)の安定したディフェンスや、ゴールキーパー関澤あすか(同3年)の好セーブなどで守りきり、接戦を制した。今季のリーグ戦について加納は「選手が各自の役割をしっかりと把握し、チームに貢献しようという意気込みでいる。納得のいく試合がしたい」と話した。(望月麗)



直転の演技を披露する松浦

日本が初優勝 堀口・高橋が好演技を披露

第7回世界ラトチームカップ

体操
トチームカップが4月25-27日にドイツのベルリンで行われ、日本が初優勝を果たした。団体戦でドイツに

彦(平成24年度体育修了)が日本代表として出場し、好演技で世界一に貢献した。日本は試合の序盤、思うように点数が伸びず、第3ラウンドが終わった時点で最下位。だが、第4ラウンドで堀口が会心の演技で高得点を記録し一気に2位に浮上した。どの国にも優勝のチャンスがある僅差で迎えた最終の第6ラウンドでは高橋が完璧な直転の演技を見せ、優勝を決めた。松浦は「世界大会への参加は今回が2回目。個人的には多くの課題が残ったため、今回先輩方や海外の選手から学んだことを生かして次の大会に向け頑張りたい」と語った。(油布知夏)

水泳競技
第90回日本選手権水泳競技大会が4月10-13日に東京辰巳国際水泳場(東京都江東区)で行われ、女子50メートル背泳ぎで諸貫真美(体専4年)が3位に輝いた。スタートに失敗し、序盤からトップに差をつけられた諸貫は、25メートル地点から強い泳ぎを見せた。28秒57の自己ベストでフィニッシュするも、「自分の最高の泳ぎができるように準備してきたが、(2位だった)

女子50背 諸貫が3位
昨年からの順位落とす
6月には、パンパシフィック水泳選手権(8月、オーストラリア)の代表選考会を兼ねたジャパンオーブン2014(50メートル)に出場する予定。27秒90の派遣標準記録を切る事が代表入りの条件になっている。しかし、諸貫は「一度も経験のない全国大会優勝と、代表入りを目指す」と意気込んでいる。(姉崎信)

サッカー
第88回関東大学サッカーリーグ戦が4月5日に開幕し、味の素フィールド西が丘(東京都北区)などで行われている。筑波大学は5月15日現在、第8節を終えて6敗2引き分け、勝ち点2で最下位になっている。7試合で5点と得点力不足に苦しんでいる筑波大は5月10日、それまで7試合で5失点と堅守を誇る明治大学と対戦。1-3で敗れ、

勝ち点2で最下位 得点力不足に苦しむ



ゴール左側からシュートを放つ車屋

リーグ戦初勝利は挙げられなかった。試合開始直後の前半3分、明治大にオウンゴールKの有賀陽平(体専2年)で先制を許す。同28分には明治大の右サイドバックにドリブルで突破される。GKの有賀陽平(体専2年)もかわされ、ゴール前へのパスを中であらう選手にサイドから攻め込まれ得点を許した。その後は車屋紳太郎(同4年)がゴール左側からシュートを放った以外には目立ったチャンスを作れず敗戦。この試合でも長いトンネルからは抜け出せなかった。

試合後、車屋は「個の力がないことがこの不振の原因(だと思ふ)。今はどんな形でもいいので、勝ちにこだわりたい」と話した。(森脇慎)

記録ファイル
女子サッカー 第20回関東女子サッカーリーグ(4月12日から、鹿島ハイイツ他)筑波大2-1関東学園大▽筑波大4-0日テレレ・メニナ▽筑波大0-1浦和レッズ▽ダイエーモンスレディーズユース▽筑波大1-4早稲田大◆オリエンテering 第40回全日本オリエンテering大会(4月27日、菅平高原)【女子】ジュニア選手権クラス▽宮田優花(心理3年) 1時間03分57秒▽7位

得点力の高さを武器に

ハンドボールと出会うたのは、小学2年生の時。実業団の選手だった母親が作った少年チームに入団した。当初から才能を発揮したが、同時に野球の少年団チームにも所属していた。「あくまで野球が第一で、ハンドボールはおまけみたいなものだった」と振り返る。



U-19 ハンドボール日本代表

徳田新之介(体専1年)

チームがまとまらない、大事な試合で勝てない。そんな苦しい状況でも、ハンドボールが嫌になることはなかった。ハンドボールが楽しい、強くなって優勝したいという思いの方が強かったのだ。顧問の先生や母にもアドバイス

高校2年の時に全国大会で優勝し、得点王に輝いた。3年になるとU-19の日本代表に選出され、第5回男子ユース世界選手権などの国際大会で活躍。得点へのこだわりと、左腕から繰り出される精度の高いシュートが持ち味の期待の新人だ。

ハンドボールの魅力を感じるようになり、中学校ではハンドボール部に所属した。それからはハンドボール一筋。強豪校である山口県の岩国工業高校へ進学後は、1年か

るハンドボールに魅力を感じるようになり、中学校ではハンドボール部に所属した。それからはハンドボール一筋。強豪校である山口県の岩国工業高校へ進学後は、1年か

はなかったが、「練習ができないのはやはりつらかった。手術4カ月後によやく復帰したが、チームの調子は上がらなかった。復帰後すぐに出場した3月末の全国大会では3回戦で敗退。7月末に行われた全国大会も、2回戦敗退に終わる。キャプテンの自分が点をとり、声を出してチームメイトの模範とならなければならなかったが、けがを(自分に対する)言い訳にしてそれができなかった」

今春、筑波大学に進学した。入学後は1年生ながら春季リーグ戦に出場。「チームに勢いを与えてくれる」「得点源になっている」と、チームメイトからの評価も高い。自身は「チームが苦しいときに仲間を助けられるような選手になりたい」と語り、11月のインカレ優勝を目標に掲げる。数々のシュートを繰り出すその左腕が、これからの筑波大ハンドをどう支えていくのか目が離せない。(添島香苗 11生物学類2年)

靴を脱ぐお金がなく、裸足で生活する発展途上国の人々の暮らしを考えるイベント「One Day Without Shoes」が4月29日つくば市で行われた。同イベントが県内で開催されたのは初めて。筑波大学生ら80人の参加者は、中央公園(つくば市吾妻)から中央図書館前の石の広場まで約3.5キロを裸足になって歩いた。

中央公園に集合した参加者は4班に分かれ、談笑しながら約1時間かけて石の

広場まで裸足で歩いた。石の広場では、参加者の足に絵の具をつけて、イベント名が書かれた横断幕の上足形の模様を付けるイベントを実施。参加者は泥や絵の具で足を汚しながら、靴を履くことができない発展途上国の現状に思いを馳せていた。

同イベントは米国の靴メーカー「TOMS」が実施しているイベントの一環で、毎年4月の同一日に世界約100カ所以上の都市で開催されている。大学構

内でも同イベントが開かれるのは日本初。イベントに参加した増田康介さん(教育2年)は「裸足だと、ずっと下を向いて歩いてしまった。痛いと感じる所も多かった。途上国などどんな路面状況なのか気になった」と話した。

イベントを企画した筑波大の学生団体「World Fut T-SUKUBA」代表の植竹渉さん(国総3年)は「参加者が多くうれしかった。このイベントのように、参加しやすい形



談笑しながら裸足で歩く参加者

で、地域活性化や国際協力に貢献するイベントを企画していきたい」と語った。

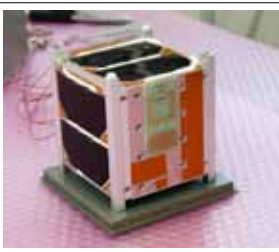
イベントに参加したTOMS日本代理店のシンフォニー株式会社の矢澤哲代表

「結」は、筑波大システム情報系が立ち上げた学生中心のプロジェクトによって企画・製作され、2月28日に種子島宇宙センター(鹿児島県)から打ち上げられた。しかし、衛星内部の温度などを伝える電波が地上に届かない状況が続いている。

プロジェクトチームのメンバーは、「結」の電波受

人工衛星「結」 電波届かず2カ月 2号機開発を検討

プロジェクトチームのメンバーは、「結」の電波受



プロジェクトチームの責任者を務める亀田敏弘教授(システム系)は「メン

「最近考えること」議題に
白熱した議論楽しむ

筑波大学公開講座「哲学カフェ」が4月27日、筑波大学東京キャンパスの文京校舎で行われた。哲学カフェは人文社会科学部が主催する。今回は、哲学・思想専攻の教員が毎月開催しているもので、参加者と「日頃気にはしてい

「最近考えること」議題に
白熱した議論楽しむ

20人の参加者が訪れた。講座は、参加者が始めの自己紹介で発表する。「最近考えていること」をもとに、話し合いを進める。今回は、会社の先輩に深夜にメールを送ったところ、非常識だと怒られた、という参加者の発言から、自分の価値観と世間の価値観が異なる場合、どちらに従うべきか議論した。

「最近考えること」議題に
白熱した議論楽しむ

「最近考えること」議題に白熱した議論を楽しむ。参加者は賛成派と反対派に分かれ、自分の知識や経験を元に考えをぶつけ合った。白熱した話し合いは約3時間以上続き、最後には一人一人が今回の講座を通して考えたことを述べた。参加した男性は「初めて参加したが、皆がどんどん発言し、議論が盛り上がり面白かった。またぜひ参加したい」と語った。(油布知夏)

アヒルボート「博士号」 松美池で「安全確認」



松美池で行われた安全確認実験の様子

実験には、T・A・C・Tの代表者・登天遊さん(CS2年)ら数人の学生が参加し、学生生活課の職員とT・A・C・T専任教員らが立ち会った。

利用者が池に落ち、博士号が利用者に覆いかぶさった際に、安全に脱出できるかを検証する実験では、等身大のマネキン人形を用意。松美池に浮かべた博士号の下にマネキン人形を差し込み、人形がその下の水中を通り抜けられるかどうかを検証した。この際、博士号が2人乗りであることを踏まえ、2人とも水中に落ちた状態と、1人が船内に残っている状態を想定し、それぞれ3回実験を実施。各回とも、マネキン人形は博士号の下を通り抜けられることができ、関係者の顔には安堵の表情が浮かんだ。

登天遊さんは「現在はボート(博士号)の管理方法を考案している。大学側との協議が整いつつあり、5月にも運用を開始したい」と話している。アヒルボート「博士号」を持ち込んだ当事者はまた判断していない。

「留學生の目」
ロセンナ・リン

私は昨年9月にG30のプログラムで日本に来ました。そしてこれまで、文化の違いをいくつも実感しました。その中で特に印象的なのは、日本人は誰に道を聞かれても礼儀正しく対応することです。私は一人の中年の日本人女性とのやり取りを通して、このことを学びました。日本に来て2日目の出来事ですが、その女性の愛らしい笑顔は、まだに忘れられません。日本に来て2日目。私は新生活の準備を手伝ってくれる家族と「研究セ

ンター」に行く途中で道に迷ってしまいました。そこで、コンビニの前で野菜を仕入れていたその女性に、道を尋ねることにしました。私たちが知っているのは家族が宿泊する「研究センター」の発音だけ。「右や左」「真直、直、直」という単語も知らなかったのだった。で、ポディランゲージだけでコミュニケーションをすすしかありませんでした。



礼儀正しい日本人

女性はとても一度親切に、そして愛らしい笑顔で道を教えてくれました。その上、トラックでゆっくり私たちの後をついてきてくれました。この女性のような親切な人は、今までに私が住んだら訪れたらいた国々にはいませんでした。それらの国では、迷っている人に道を教える必要はありません。教えることで利益が得られるわけではなく、女性も

女性もとても親切に、そして愛らしい笑顔で道を教えてくれました。その上、トラックでゆっくり私たちの後をついてきてくれました。この女性のような親切な人は、今までに私が住んだら訪れたらいた国々にはいませんでした。それらの国では、迷っている人に道を教える必要はありません。教えることで利益が得られるわけではなく、女性も

筑波大生の駐輪マナー

市民から苦情多数

学生生活課によると、最近の市民からの苦情では、「夜間に無灯火で走行して」「交差点など」「飛び出してきて危険だ」という苦情が目立っている。また、筑波大生がつかば市内で放置した自転車についても警察から問い合わせが続いている。一方、学内では新学期開始後から通路をふさぐ形で駐輪するケースが多く、同課では「自転車が入り口をふさいでいて」「災害時などに避難できないような場所も多し」と警告。このほか、学内で自転車同士で衝突後、片方が逃走する悪質なケースもあったという。

学内では「不適切駐輪」

一方、駐輪場の確保では、大学は昨年、第一エリアなどスペースを拡張。だが学生生活課によると、建物の入り口から遠い駐輪場を使用せず、自転車で行く際の入り口付近に無理矢理駐輪するケースもあるという。つくば市では、「市民の自転車に対する意識を向上させたい」と同市交通政策課として4月から、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例(自転車安全利用条例)」を制定した。ヘルメットの着用や自転車への反射材装着のほか、簡易保険の加入を促す内容で、罰則規定はないが、交通法令の遵守を求めている。つくば市によると、同課)として4月から、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例(自転車安全利用条例)」を制定した。ヘルメットの着用や自転車への反射材装着のほか、簡易保険の加入を促す内容で、罰則規定はないが、交通法令の遵守を求めている。つくば市によると、同



駐輪禁止スペースに止まる自転車

市内に続き2番目。一方、つくば中央署によると、今年1月から4月までのつくば市内で発生した交通事故は146件だった。齊藤泰嘉教授のグループが開発

妖怪伝承を扱う

東京都荒川区南千住を散策しながら地域に伝わる妖怪の物語を学ぶスマートフォンアプリ「南千住百物語」を開くと南千住の地図が表示され、地図上に妖怪の伝承が伝わるスポットの位置が示される。その場所に近づくとスマートフォンが全地球測位システム(GPS)で無料ダウンロードできる。開発者によると南千住には妖怪物語が多く、「南千住叫んだ」と当時の恐怖を語った。また「入学当初は馬乗りされ体を触られたが、無我夢中で足をけると男の体にあたり、男は逃げ出したという。女性は「男は面長でメガネをかけ、若かった」と話している。

妖怪の物語が表示される仕組みは、特定の場所でスマートフォンをかざすと、画面上にアニメ風の妖怪が現れ、その場に妖怪がいるかのような合成写真を撮ることもできる。また、物語だけでなく、南千住を流れる隅田川を舞台にした謡曲や琵琶の演奏を聴くことも可能だ。活動を主導する市川寛也さん(平成25年度芸術専攻)は「今年度中に南千住の口頭伝承の妖怪物語についても取り上げ、最終的には99話まで物語の数を増やしたい」としている。また、iPhone以外の機種にも対応させ、外国人向けに多言語対応化するなど改良を続けていくという。市川さんは「目に見えない妖怪を可視化することで、妖怪だけでなくその町の歴史や文化も見えてくる。そうして町に興味を持ってもらい、町おこしにつなげていきたい」と今後の展望を語った。(油布知夏)



伝承が伝わる場所で撮影した写真

小中高生が 筑波大生体験

子どもたちに大学の講義や最新の研究を紹介するイベント「キッズ・ユニバーシティ」が4月19日に開催され、小中高生が二日筑波大生として18の特別授業・体験ツアー! 展示を回った。林悠助教(国際統合睡眠医学研究機構)による特別授業「睡眠のミステリー」では、睡眠のメカニズムを分かりやすく説明。林助教が「二度寝」の防止法など、睡眠についてのさまざまな知識を紹介すると、参加者は驚きの表情を見せていた。

「街灯欲しかった」

被害女性 事件の状況語る

路上わいせつ事件

筑波大学周辺の街灯がない道で、女子学生への路上わいせつ事件(暴行を含む性的嫌がらせ)が増えている問題で、2012年夏に被害にあった筑波大学の元女子学生が本紙の取材に応じ、被害時の状況を語った。元女子学生の女性に幸いけがはなかったが、被害後、犯人に容姿が似た男性に恐怖心を覚えるようになったという。女性は「入通りのある道には街灯をつけてほしい」と求めている。(街灯問題取材班)



つくばに街灯を

女性が被害にあったのは午前0時ごろ。つくば市天久保の自宅アパートに入る直前、後ろからシャツのすそを引っ張られた。「友人か」とふり向くと、見知らぬ男がおり、その後、突き飛ばされた。さらに仰向けに倒れたところを、男に馬乗りされ体を触られたが、無我夢中で足をけると男の体にあたり、男は逃げ出したという。女性は「男は面長でメガネをかけ、若かった」と話している。

女性によると当時、自宅から徒歩約5分のコンビニからの帰宅途中。コンビニは大通りに面し周辺は街灯も多いが、女性の自宅アパートに近づくにつれ雑木林が生い茂る一方で、街灯は少なくなる。付近に住む別の筑波大学の女子学生はこの周辺の道について「一日没以降は暗く、自転車でも通らないようにしている」と話していた。

被害にあった女性は「突き飛ばされて何が起こっているのか分からず」「何ですか、何ですか」とひたすら届けるよう求めている。

琴ちゃんとせんせい



公園にて張り込み中。助けなくっちゃまったな...。メシ買ってきてくれるか? はい!

俺らのぶんは... えっ? ...

つくばぬいぐるみ病院

つくば市内では路上わいせつ事件が、昨年、17件あり、うち約半数の9件が夏に発生。このためつくば中央署では今年も夏に向けて注意を促している。また同署では「早めに通報すれば犯人逮捕につながるやすい」と、被害の際は警察に届けるよう求めている。

子どもたちのために 試行錯誤

子どもが好きなんです。活動参加のきっかけを問うと、メンバーは口を揃えて答える。揺るぎない気持ちを抱き、子どもたちが「楽しみながら」「健康や医療を学べるよう、メンバーの試行錯誤は続いていく。(新田萌夏)社会学類2年)



「子どもが好きなんです。活動参加のきっかけを問うと、メンバーは口を揃えて答える。揺るぎない気持ちを抱き、子どもたちが「楽しみながら」「健康や医療を学べるよう、メンバーの試行錯誤は続いていく。(新田萌夏)社会学類2年)

Who's Who?

つくば市発のアイドルをプロデュース 長谷川慶さん(社工2年)



松美池前でほほ笑む長谷川さん

「全国を舞台に活動するのは、地域限定の大学生アイドルを創設したい」と話すのは、学生団体「Astaire(アステール)」の代表を務める長谷川慶さん(社工2年)だ。

CMでの作曲を手掛けたアロの作曲家に依頼している。SNSや大学周辺の飲食店、コンビニなど、15店舗以上で広告を出し、つくば市の大学、大学院、専門学校に通う女性を対象としてアイドルを募集しているが、メンバーは残念ながら現在まだいない。だが「アイドルを使って、学生、高齢者、社会人と年齢に関わらず、地域の人の交流を活性化させる」と意気込む。

アイドルで社会貢献を 地域住民の交流も目的

はふと、「自分でアイドルを創りたいのでは」と思い始めた。大学入学後、アイドルの創設という大きな夢を実現するため、長谷川さんはSNSを活用しベンチャー企業の社長や筑波大のOBを中心に30人以上と面会。多様なアドバイスをもらう中で「やりたいではなく、やるに変えよう」という大手商社に勤めるOBの助言が心に響き「将来は、今できることをやってみようと思った」と語る。

「歌って踊ることだけがアイドルの活動ではない」と語る長谷川さん。アイドルという親しみやすい存在を通して多くの人のつながりを生み出すのが目標だ。メンバーが集まり、アイドルグループが結成されれば大規模なコンサートと、学生や社会人、高齢者が交流するイベントを同時開催する構想もある。「つくば市には、やりたいことがあっても一歩踏み出せない学生が多くいる。アイドルを通じて人とつながることによって、きっかけが生まれ

る。それがやりたいことの表現につながる」と長谷川さんは話す。

例えば、高齢者とのつながり。「目標に向かって悩んでいる時、人生経験豊かな年配の方の助言が役に立つ」と話す。また筑波大は大学発ベンチャー企業の輩出量が全国第2位であるのにも関わらず、学生と起業家とのつながりが薄いといわれる。「起業家志望の学生と、実際に起業した社会人との連携できればいいと思う」

大学生のアイドルをプロデュースすることで、学生と地域住民の交流を促進したいと考える。このような長谷川さんの構想に「地域を元気にしてくれ」と期待する茨城県の県議会議員の声もある。

アイドル創設という巨大なプロジェクトに挑戦する長谷川さん。「アイドルの活動によって多くの人の交流を深め、笑顔にしたい」と意気込む彼が今後どのように活動していくのか、注目したい。(林健太郎II社会学類2年)

編集後記

今回、取材・編集を通じて感じたキーワードは「つながり」です。LINE社の森川亮社長は「筑波大は卒業生のつながりが薄い」と語りました。1、2面で紹介した筑波大発の「ビジコン」には卒業生と学生を結びつける意図もあるのでしよう。▼1面と3、2特集で取り上げた社会貢献プロジェクトは「大学」と「社会」のつながりを作るものです。「大学周辺で生活が充実した紙面を目指している」と思います。(編集長・平嶋健人II社会学類3年)

次号は

7月14日(火)

発行予定です

第30回つくば芸術祭



講演するイラストレーターの中村佑介さん

5面へ

RICOCHET 21st FASHION SHOW



衣装を披露するモデル

5面へ

全日本柔道選手権大会



相手と組み合う永瀬(右)

8面へ

One Day Without Shoes



裸足で歩いた後、横断幕に足跡を付ける参加者

10面へ

学芸

学芸

スポーツ

学生生活